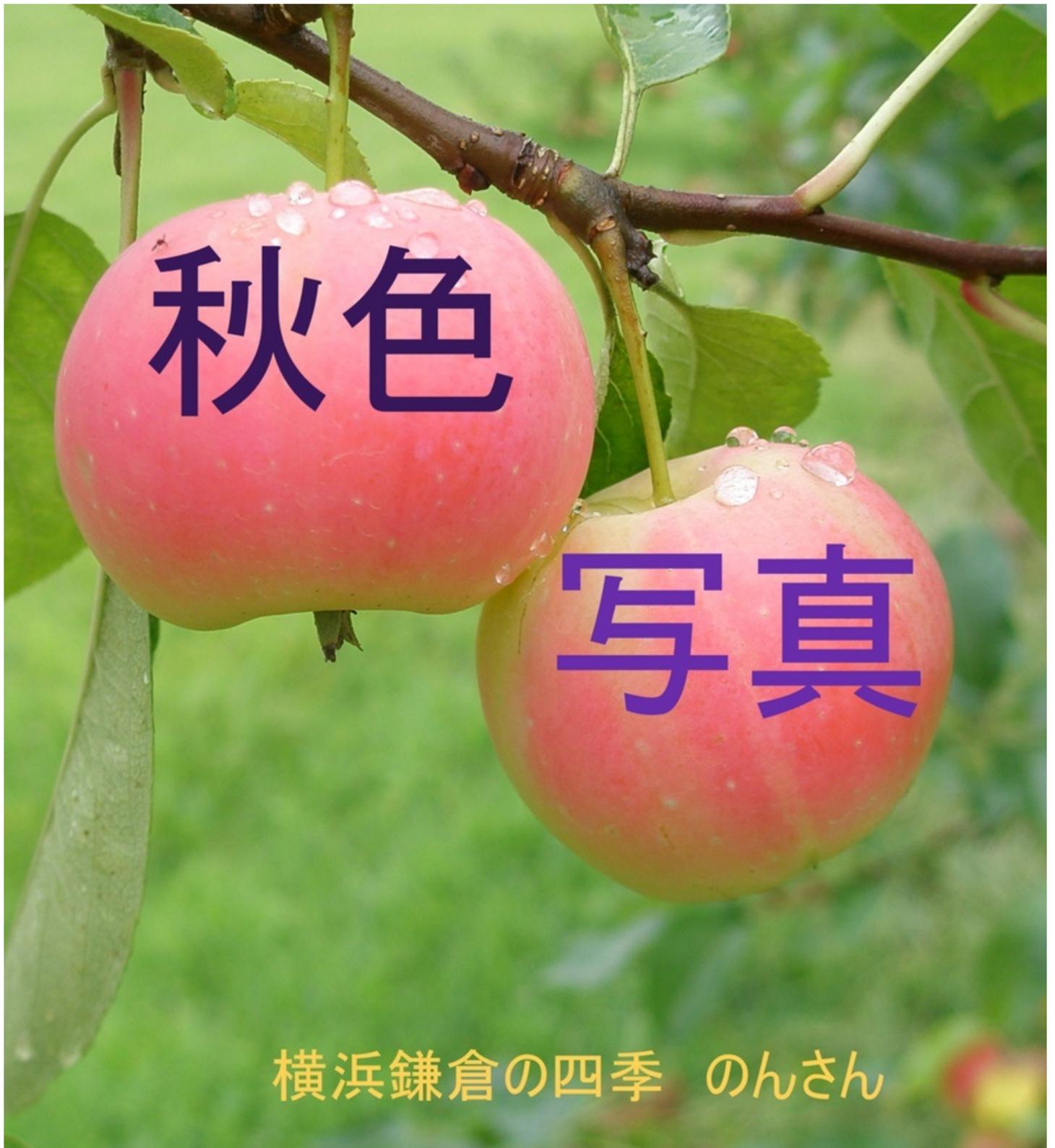


A close-up photograph of two ripe red apples hanging from a dark brown branch. The apples are covered in small, clear water droplets, suggesting they have been recently washed or are dew-covered. The background is a soft, out-of-focus green, likely representing the leaves of the tree. The overall scene is bright and fresh, capturing the essence of autumn harvest.

秋色

写真

横浜鎌倉の四季 のんさん



秋色・・・

皆さんはどんな色を思い浮かべますか？

人それぞれ、秋色への思いは異なるでしょう

日本各地の秋色写真を準備しました。

美しい日本の秋色とエッセイをお楽しみ下さい。



夏の終わり雨の中での散歩で、きれいなリンゴの実に出逢いました。まだ十分に熟していない、リンゴの実です。青いところもありますが、赤く色づいてきています。とてもみずみずしく見えます。先ほどまで降っていた雨の雫がリンゴの上に、大きな水玉になって光っています。秋の訪れを予感させます。参照[小布施須坂花散歩](#)
[長野県小布施町周辺地図](#)



夏の終わり北海道道東にある、屈斜路湖の近くの牧場で牧草の刈り取りが行われていました。牧草が刈り取られ、大きな牧草ロールになります。この牧草ロールはこれから迎える北海道の長い秋と冬の間、牛の飼料となります。北海道、道東の夏は短いです。この牧草ロールこれから迎える、秋への備えですね。参照[道東の火山と植物](#)
[弟子屈町周辺地図](#)

高原に秋を告げるヤナギランの花



信州志賀高原の夏は短いです。夏の終わり、志賀高原にヤナギランの花が咲いていました。ヤナギランは高原に秋を告げる花です。高原の秋はお盆を過ぎるとやってきます。夏の終わりを惜しむように、ヤナギランの花は涼風に揺れます。参照[志賀高原長池花散歩](#)
[志賀高原焼額山周辺地図](#)



志賀高原にある木戸池の湖畔にゴマナの花が咲いていました。ゴマナの花にはトンボが止まっています。木戸池で遊ぶ、ボートを眺めているようです。滋賀高原に止まるトンボは高原に秋がやってきたことを教えてくれます。参照[志賀高原の動植物](#)

[志賀高原木戸池周辺地図](#)



乗鞍高原に夏の終わりに、ワレモコウ（吾亦紅）の花が咲いていました。ワレモコウの花は紫色で秋を感じさせる花です。秋の茶花としても良く使われます。ワレモコウには花弁がありません。紫色に見えるのは、4枚のがくです。花としては変わっていますが、ワレモコウの花は秋を感じさせます。参照[ワレモコウの花](#)
[乗鞍高原周辺地図](#)



信州に秋風が吹き出す頃、ぶどう棚にブドウが実っていました。最近は大粒の品種が多いですが、これは昔ながらの小粒のデラウェアの品種です。小粒ですが甘くて食べやすいブドウです。ブドウの実り、秋を感じます。参照[北アルプスの色図鑑](#)
[長野県塩尻市桔梗河原周辺地図](#)



乗鞍山畳平は気軽に行ける高山帯のお花畑です。標高2700mの畳平にあるお花畑に、イワギキョウの花が咲いていました。イワギキョウは空を仰いで、咲いていました。イワギキョウの花は空に向かって「秋がくるよ・・・」と叫んでいるようでした。イワギキョウの花は高山に秋を告げます。参照[乗鞍畳平に咲くイワギキョウの花](#)
[乗鞍岳畳平周辺地図](#)



富良野のシラカバ林を早朝散策していると、朝霧の中でオオハンゴンソウの花が咲いていました。オオハンゴンソウは特定外来生物（第二次指定生物）に指定されている、嫌われ者ですが朝霧の中で秋を感じさせてくれました。

[富良野ピクニックガーデン周辺地図](#)



万座温泉は標高1800mの高地にある温泉です。万座温泉の露天風呂は雄大で、眺めが良いので人気です。万座温泉の秋は早いです。8月の下旬アキアカネ（トンボ）が秋草に止まっています。このアキアカネ、秋を携えて里へ下ってゆきます。参照万座温泉花散歩
[万座温泉周辺地図](#)



函館の街にはハマナスが多いです。函館の街は横浜などとともに、日本で最も早く開港した港のひとつです。今は大都市ですが、開港前は砂浜が広がっていました。北国の砂浜に分布する、ハマナスが多いのもうなずけます。初秋啄木がたたずんだであろう、函館立待岬でハマナスの赤い実が雨に打たれていました。啄木はこの地に眠っています。参照[函館の色図鑑](#)
[立待岬周辺地図](#)



京都醍醐寺は豊臣秀吉がここで大々的な花見を行い、醍醐の花見で有名な寺です。醍醐寺の五重塔は平安時代の建築です。醍醐寺五重塔近くにハギの花が咲いていました。ハギの花は京都に秋を告げる花です。参照[京都の色図鑑](#)

[醍醐寺周辺地図](#)

風で落ちたアラカシの実



京都醍醐寺の境内は広いです。醍醐寺には上醍醐、下醍醐、伽藍と200万坪もの敷地があり世界遺産に登録されています。広い醍醐寺の敷地内を散策していると、昨日の大風で落ちたアラカシの実がありました。アラカシの実はまだ青く、アラカシの実は初秋であることを教えてください。



秋に広い京都醍醐寺の境内を散策していると、様々な秋色を見つけることができます。ヨメナの花にツルが巻きついています。こんなヨメナの姿にも秋色を感じませんか？秋の散歩は他の季節に比べて、少し感傷的かもしれません。

[醍醐寺林泉周辺地図](#)



まだ残暑の残る初秋に鎌倉海蔵寺を訪れると、境内に咲くハスにハチスができていました。夏に大きなハスの花を楽しませてもらいましたが、秋になってハスの実ができたのですね。ハスの実はもちろん食べることができます。まだ色が変わる前に、焼いたり甘納豆にして食べます。ハスの実は熟すととても硬く、2000年以上もの時を隔てて出芽することがあります。ハスの実は鎌倉に秋の訪れを知らせてくれます。参照[ハススイレン花旅](#)
[鎌倉海蔵寺周辺地図](#)

ハナミズキの赤い実は秋を伝えます



ハナミズキは初夏に白く爽やかな花をつけます。そして9月下旬秋風が吹き出すと、真っ赤な赤い実を実らせます。ハナミズキの実が実ると秋が本番です。ハナミズキの曲や映画も人気ですが、ハナミズキの実もこの秋に見ておきたいですね。



横浜郊外の藤沢市に近い場所には、田園風景が広がる地域があります。初秋にそんな田園の中を歩いていると、初夏に花が咲いていた、ザクロが大きな実になっていました。ザクロの赤い実は、味わいのある色合いです。ザクロの実は秋が来たねと言っているようでした。参照[横浜小さな秋](#)

[戸塚区周辺地図](#)



横浜郊外にはクリの生産をしている農家もあります。初秋大きなクリが実っていました。もうクリの実が割れて、実が見えています。おいしそうなクリの実です。秋の栗ごはんや焼き栗、マロングラッセなど楽しみですね。



奈良県飛鳥（明日香）は日本に古代国家ができた発祥地とされています。この地に飛鳥浄御原宮が造られました。秋に飛鳥（明日香）を散策すると、のどかな田園風景が広がっています。高松塚古墳近くにある飛鳥歴史公園で、ススキの穂が秋風に揺れます。1300年以上前にこの地が国際都市であったことが、様々な発掘資料から証明されています。万葉の詩を口ずさみながらの、秋の明日香（飛鳥）散歩お勧めです・・・参照[飛鳥・明日香花散歩](#)
[飛鳥歴史公園周辺地図](#)



北海道積丹半島の海は青いです。積丹半島にある積丹岬に秋の花である、アキノキリンソウとソバナが咲いていました。アキノキリンソウもソバナも秋の花です。積丹半島の青い海と秋の花素晴らしいです。参照[積丹半島の植物と自然](#)
[積丹岬周辺地図](#)



秋の京都の散歩も楽しいです。まだ京都市内が残暑の残る頃、鞍馬に近い貴船神社はもう秋色です。貴船神社の参道や境内にはシュウカイドウの花が咲きます。シュウカイドウはベコニアに似ていますが、古い時代に日本に渡来した植物です。シュウカイドウは、もうすっかり京都の色に染まっています。参照 [貴船神社京都花の街](#)
[貴船神社周辺広域地図](#)

京都大原の里に咲くコスモスの花



京都大原の里コスモス畑 [大原高野川周辺地図](#)



京都大原の里宝泉院のコスモスを浮かべた水盤

京都大原の里は京都市内から少し離れた、山間の集落です。京都大原の里には三千院や寂光院、来迎院などの名刹が散在しています。京都大原の里の秋は京都市内よりも一足早くやってきます。大原の里には、高野川沿いや山裾にコスモス畑が広がります。宝泉院の水盤にコスモスの花が浮かべられていました。参照[京都の色図鑑](#)

[宝泉院周辺地図](#)

秋茄子の紫色



横浜市の郊外の畑を散策していると、秋茄子が実っていました。秋茄子も良い色ですね。ナスの紫色はアントシアニン系の色素です。抗酸化作用が強く、ナスの皮も一緒に食べたいですね。ナスは秋の味覚です。参照[紫色の図鑑](#)



鎌倉の木々で一番早く紅葉するのはサクラです。サクラは4月に若葉を出して、10月には紅葉して葉を落とします。サクラはわずか6ヶ月のサイクルで、光合成による生産をしているようです。9月下旬鎌倉長谷寺の境内を歩いていると、邪鬼の足元に、紅葉したサクラの葉が落ちていました。四天王から一年中踏みつけられている邪鬼も秋の紅葉を楽しんでいるようですね。[長谷寺周辺地図](#) 参照[鎌倉花の長谷寺](#)



秋に埼玉県日高町にある、巾着田を散策してみました。秋の巾着田には100万本と言われるヒガンバナの花が咲きます。高麗川の蛇行により、この地域は空から見ると巾着型をしています。その中に水田があるので巾着田と言うそうです。巾着型の水田では、稲作が現在も行われています。ここには古代からの朝鮮民族の遺跡と百万本とも言われるヒガンバナの花が咲いています。ヒガンバナは水田の土手を守ると言われています。稲作とともにヒガンバナは大陸から渡来したようです。参照[巾着田のヒガンバナ](#)
[巾着田曼朱沙華公園周辺地図](#)

秋色に染まる上高地と穂高連峰



上高地の紅葉は9月から始まります。北アルプス穂高の峰々から紅葉が下ってきます。もうしばらくすると、穂高の峰々は雪で覆われます。うっすらと雪化粧をした、北アルプスの峰々も美しいです。参照[北アルプスの色図鑑](#)
[上高地周辺地図](#)

ムラサキシキブ（コムラサキ）の実



秋の鎌倉を散歩しているとムラサキシキブ（コムラサキ）の実に出逢います。ほとんどは栽培品種のコムラサキだそうですが、紫色の実が秋を感じさせてくれます。ムラサキシキブ（コムラサキ）の実を眺めながらの、秋の散歩も楽しいですね。参照[鎌倉秋の花散歩](#)
[亀ヶ谷切通し周辺地図](#)



秋の涼風が吹き出した京都市美術館近くの京都琵琶湖疏水沿いを散策していると、ジンチョウゲの良い香りがします。ジンチョウゲの香りがすると、京都では秋本番を迎えます。京都の秋の味覚も、楽しい季節です。

[琵琶湖疏水周辺地図](#)



京都竜安寺は石庭で有名です。石庭で物静かに瞑想に耽るのも良いですね。竜安寺の前庭には広い池があり、池の周りの紅葉もきれいです。参照[京都の紅葉は見事](#)
[竜安寺周辺地図](#)



京都嵐山にある宝厳院は天龍寺の塔頭の一つです。宝厳院の庭と紅葉は見事です。ススキの穂も秋を演出しています。京都の紅葉は見事です。

[宝厳院周辺地図](#)



京都の宇治川は琵琶湖から流れ出ます。ダムができる以前は、琵琶湖と宇治、淀川は船で結ばれていました。この宇治川をたくさんの人々と、物資が移動したことでしょう。宇治川の畔の紅葉も見事です。

[宇治十三重石塔周辺地図](#)



京都東福寺の紅葉は人気NO1と言われています。東福寺は京都の中心部にありながら、深山の雰囲気があり東山の山々の紅葉とマッチしています。京都の紅葉の美しさは、木々にだけ目をとられてはいけません。庭の青々としたコケの上の敷きモミジも見事です。

[東福寺周辺地図](#)



横浜桜木町のケヤキ通りの紅葉もきれいでした・・・今年はこの紅葉見えるかわかりません。近年「落ち葉が邪魔、枝が邪魔・・・」の声に押されて、街路樹の枝や葉がほとんどなくなってきました。誰が言い出したのでしょうか・・・木々に枝が生え、葉が茂り、秋には落葉する、そんな当たり前の自然の摂理に異を唱える人々が出てきてしまいました。最近都会ではそんな人たちの「苦情？」に押され以前は涼しかった、都会では、夏の日を遮る街路樹の枝や葉もほとんど丸刈りにされています。とても残念なことです。またケヤキの紅葉が見たいです。夏の日をさえぎる、涼しく潤いのある街路樹が戻ってほしいです。参照[横浜の紅葉](#)
[けやき通り周辺地図](#)



横浜海岸通りのイチョウ並木の黄葉は見事です。神奈川の通り100選にも選ばれている横浜海岸通りのイチョウ並木です。横浜海岸通りのイチョウの街路樹は歴史的にも有名なので、他の場所の街路樹のようにばっさりとな茶な剪定はされないでしょう。今年も横浜海岸通りのイチョウの秋の黄葉楽しみです。参照[横浜の紅葉](#)
[山下町海岸通周辺地図](#)



横浜では10月下旬になるとハロウィンの飾りが街中にされます。ハロウィンは外国から横浜にもたらされた行事です。横浜山手では10月下旬の土曜日にハロウィン・ウォークが行われます。カボチャで作ったジャックランタンは横浜の秋を演出します。参照[横浜のハロウィン](#)
[横浜山手周辺地図](#)



鎌倉長谷寺は花の寺として知られる寺です。一年中花の絶えないお寺です。秋の一日花めぐりに行くのも良いですね。長谷寺境内にシュウメイギクの花が咲いていました。シュウメイギクは秋に咲く爽やかな花です。参照[鎌倉花の長谷寺](#)
[鎌倉長谷寺地図](#)



京都浄瑠璃寺は京都府の南部にあります。浄瑠璃寺付近には田園風景が広がります。かつてはここが平安時代に栄華を誇った場所であることを感じさせません。浄瑠璃寺は九体寺とも言われ、九体の阿弥陀如来が圧巻です。浄瑠璃寺の中に入り、九体の阿弥陀如来を目の当たりにするとここが平安末期に考えられた極楽浄土の入り口であることがわかります。浄瑠璃寺近くの無人の売店は、秋を感じさせます。参照[浄瑠璃寺岩船寺](#)
[浄瑠璃寺周辺地図](#)



京都にある平安神宮は平安遷都1100年を記念して、今から100年ほど前に作られた京都では比較的新しい神社です。平安神宮も回廊にフジバカマの花が咲いていました。フジバカマの花は秋の七草です。平安時代にも同じようにフジバカマの花は咲いていたのでしょうか。

[平安神宮周辺地図](#)



京都嵯峨野にある宝篋院は紅葉の名所のひとつです。宝篋院の紅葉を楽しんでいると、足元に青い宝石のような実が見えました。ジャノヒゲの実です。ジャノヒゲの青く美しい実は、京都の晩秋を飾る実です。

[京都嵐山宝篋院周辺地図](#)



京都嵯峨野にある大覚寺は、嵯峨御所として、嵯峨天皇の離宮があった場所です。大沢の池を望む広い境内には、御所としての宸殿が残されています。大覚寺から望む大沢の池に映える紅葉は格別です。京都の秋を満喫できます。参照[嵯峨野大覚寺花散歩](#)
[大覚寺大沢の池周辺地図](#)

京都の秋を彩る嵯峨菊の花



秋の嵯峨野を散策していると、嵯峨菊をところどころに見ることができます。細い筒状花が特徴です。嵯峨天皇が大徳寺付近に植えたのが始まりと言われています。嵯峨菊の繊細な花に心をうたれます。参照[京都秋の花](#)

[嵯峨野二尊院周辺地図](#)



最近京都先斗町では京野菜ダイニングが流行っています。昔はこの先斗町は茶屋町として有名でしたが、今では世界中の人が押しかける観光地です。先斗町では最近京野菜を店先に並べ、店内で調理していただく店が多くなっています。各飲食店では地元の京野菜を中心に、京料理として提供しています。秋にはエビ芋や聖護院かぶら、鹿ヶ谷カボチャなど、地元の秋野菜が店頭に並びます。京都の京野菜は地元のマイナーな品種を大切にしてきた、成果が今世界中に認められているようです。参照[先斗町京都花の街](#)

[先斗町明細地図](#)



奈良興福寺は平城遷都とともに現在の場所に移転されてできた寺です。興福寺は平城京の歴史を見守ってきた寺です。昨年は阿修羅ブームが日本中に起きましたが、有名な阿修羅像は興福寺の寺宝です。秋に興福寺を散策していると興福寺の五重塔を望むイチョウとカエデの紅葉の下で、鹿がイチョウの葉を食べていました。参照[奈良公園花散歩](#)
[興福寺周辺地図](#)



鎌倉寿福寺の裏の墓地には北条政子の墓や源頼朝の墓と言われる五輪塔があります。晩秋、北条政子の墓の近くにお茶の花（チャ）が咲いていました。皆さんはお茶の花を見たことがありますか？お茶の花は決して派手ではありません。うなだれたように、下向きに咲く白く清楚な花です。鎌倉の秋を代表する花ですので、皆様も探してみてください。寿福寺を開山した栄西は茶道の祖ともいわれ、源実朝に茶を献上したといわれています。もしかしたらこのチャの花は鎌倉時代から続くものかもしれませんね。そんなことを想像しながら、チャの花を眺めるのも良いですね。参照[鎌倉散歩今が旬](#)
[寿福寺周辺地図](#)



J R北鎌倉駅から葛原岡をぬけ銭洗弁天までのハイキングコースは秋に人気のコースです。シイの実やドングリの実を拾いながら歩くと秋を満喫できます。ススキの穂にスズメが、とまる姿も秋らしいです。スズメはススキの穂に軽々と、とまっていますがわずか20gほどしかないそうです。脳の重さはわずか0.6gと言われますから、あれだけの運動能力を持っているのは不思議ですね。参照[鎌倉秋の花](#)

[源氏山付近周辺地図](#)



横須賀市観音崎にあるたたら浜は、東京湾に面した真っ白な砂浜きれいな砂浜です。このあたりは温暖な地域です。また知る人ぞ知るゴジラが日本に上陸した場所でもあります。私が小学校の頃遠足ではじめてきたときには、ゴジラの滑り台がありました。楽しく遊んだのを今でも覚えていてます。たたら浜には秋から冬にかけてイソギクの花がきれいに咲きます。参照[横須賀秋の花散歩](#)
[観音崎周辺地図](#)



晩秋から初冬の横浜は暖かい日が多いです。暖かな日を浴びながら横浜港を散歩していると、タグボートの停泊場所近くに咲く、ツワブキの黄色い花に出逢いました。ツワブキは横浜鎌倉や三浦半島で海岸近くに自生している植物です。晩秋から初冬の散歩に似合う花です。タグボートは地味な船ですが、豪華客船やタンカーを誘導する力持ちです。タグボートとツワブキは似合いのカップル？です。参照[黄色図鑑](#)

[横浜港新港埠頭周辺地図](#)



横浜駅北東口から徒歩5分ほどの場所に横浜ポートサイド公園があります。ちょっと海を見たくなったときに立ち寄るのに最適な場所です。晩秋ポートサイド公園に北国からカモメが飛来してきました。カモメが横浜港にやってくるともう秋も終わりに近いです。ススキも枯れ尾花になっていますね。参照[横浜冬散歩](#)
[ポートサイド公園周辺地図](#)



晩秋の美瑛は美しいです。木々は色づき、畑も枯れてきています。緑色に見えるところは麦畑です。遠くの大雪山には新雪が積もっています。北海道美瑛は寒く、冬には -30°C まで下がります。夏と冬の間、北海道の秋の色は格別に美しいです。参照[富良野の色図鑑](#)
[美瑛付近周辺地図](#)

裏磐梯晩秋の色



福島県裏磐梯にも秋がやってきました。木々や草原は秋色に染まります。もうしばらくすると初雪が降ります。冬にはこの付近はスキーやワカサギ釣りなどウィンタースポーツで賑わいます。

秋の裏磐梯高原もきれいです。参照[会津の色図鑑](#)

[裏磐梯五色沼周辺地図](#)



横浜山手ブラフ18番館はかわいらしい洋館です。イタリア山の丘の上に建つブラフ18番館は無料で見学できる施設で、横浜市民からも人気です。晩秋木々の黄葉が美しいです。晩秋館内には有名アーティストによる、クリスマスの飾りつけがされてとても楽しいです。参照[横浜山手のクリスマス](#)
[ブラフ18番館周辺地図](#)

横浜山手イギリス館のクリスマステーブル



晩秋、横浜山手の西洋館ではクリスマスの飾りがされます。ちょうど横浜の紅葉・黄葉が美しい時期です。無料で見学できる横浜山手イギリス館に素敵なクリスマスのディナーテーブルの飾りがされていました。この頃の横浜山手の散歩は楽しみです。参照[横浜市イギリス館](#)
[横浜市イギリス館周辺地図](#)



横浜のクリスマスは11月から始まります。11月になると街中クリスマスの飾りで賑やかです。横浜港の遊覧船ロイヤルウイング号にもサンタさんが乗っています。晩秋の横浜は楽しみです。参照[横浜のクリスマス](#)
[山下公園周辺地図](#)



晩秋に京都大徳寺興臨院に訪問させていただきました。ちょうど紅葉が終わりの時期で、散ったカエデの紅葉が手水に散っています。手水には秋の花が生けられていました。生けられた秋の花と、偶然散った紅葉が見事なコラボレーションになっています。最近では散った落ち葉を、ゴミと見る方も多いようですが日本に昔からある高度な美のセンスとエコの心に学びたいですね。

参照 [京都の色図鑑](#)

[大徳寺興臨院周辺地図](#)



横浜港の秋の日も沈み夕闇が迫ってきました。秋の日は短いです。横浜港は薄紫色に染まり、船の明かりが白く輝きます。横浜港の秋の夕暮れ時も美しい時間です。作者の勝手な感傷で皆様に秋色の写真をお届けしましたが、お気に入りの秋色の写真が一枚でもあれば幸いです。参照[横浜散歩今が旬](#)

[横浜山下公園氷川丸周辺地図](#)

あとがき

写真集「秋色写真」を最後まで見ていただき、感謝いたします。「秋色写真」を満足いただけたでしょうか？もしお気に入りの写真などありましたら、各ページにあるお気に入りに登録☆（パブユーザー登録でできます）を押していただけると幸いです。ご意見、感想などもいただくと、今後の編集の参考にもなり、ありがたいです。ご意見、感想などは各ページのコメント欄に記入下さい。ありがとうございました。

その他の出版物の[んさんの出版物](#)をどうぞ